

犯罪のない安全で安心なまちづくりを目指して

当町における令和7年の犯罪発生状況は、175件（前年同期比+1件）と微増となりました。増加した要因として、自転車、オートバイなどの乗物の盗難のほか、侵入盗である空き巣、忍込みなど、窃盗が増加したことがあげられます。

その他、治安課題となっている電話d e詐欺についても、8件と前年同期比+3件となり、被害額も1千万円を超えています。

そこで、本号では、最近の電話d e詐欺の手口などを裏面に紹介しますので、防犯意識向上にお役立てください。

セーフティアドバイザーの活動状況

《合同パトロール》

防犯ボランティア団体や各自治会が指定した時間に合わせ、合同パトロール活動を推進しています。



《見守り活動》

児童等の下校時のスクールガードや防犯ボランティアの方と共に、見守り活動を推進しています。



《犯罪抑止活動》

郵便局と連携し、年金受給日に、ATM付近での、電話d e詐欺被害防止の声かけなど、犯罪抑止活動を推進しています。



《活動の事例紹介》

高齢者の方が防犯ボックスに来所し、盗難被害の相談を受け、事件性を判断し、警察に連絡、引き継ぎを行いました。



自治会による防犯パトロールの実施

《自治会の活動》

上本佐倉自治会では、昨年（令和7年）12月20日、犯罪や交通事故が増加する年末に、1件でも犯罪や事故を減らそうと、自治会長、防犯指導員の方の呼びかけにより住民のみなさんが防犯パトロールを行いました。

また、同自治会では、昨年8月23日、児童による防犯パトロールも実施しています。

パトロール終了後、児童は、自治会が用意したかき氷を食べながら楽しい夏の思い出作りをするなど、地域の絆の醸成や町の安全・安心のため、積極的に取り組んでいます。



電話 de 詐欺の新たな手口に注意！！

1 県内の電話 de 詐欺被害状況（令和7年中）

被害件数 1,206件
被害額 73億3,850万2,820円

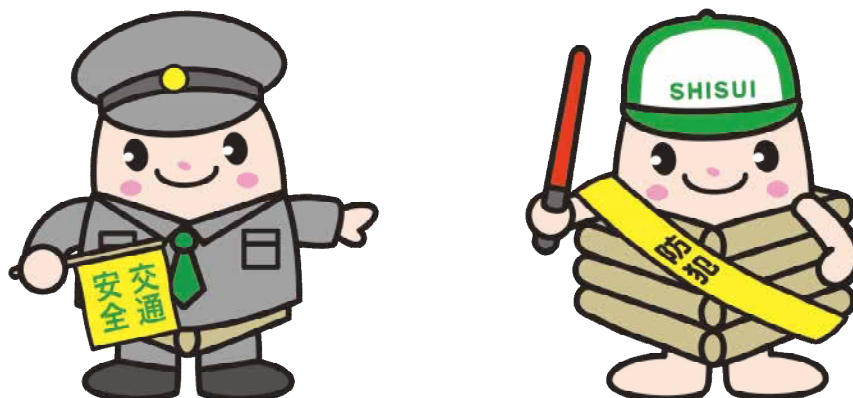


2 手口

警察官や検察官を名乗り「犯人は、あなた（被害者）の口座を買ったと言っている。口座のお金を捜査したい。コンビニに行くように。」と指示、コンビニのマルチコピー機で指定された番号を入力すると被害者名義の逮捕状などの書類が印刷されたため、言われるまま相手が指定する口座に送金してしまい多額の現金をだまし取られる被害が発生しています。

注意

- 警察官がマルチコピー機で書類の印刷を指示することはありません。
- 警察官や検察官が捜査のためにお金を振り込ませることはありません。
- 警察官や検察官がビデオ通話で事情聴取することはありません。



STOP！！ 電話 de 詐欺
まずは確認！！あわてないで！！冷静に！！

もし、不審な人物や車両などを見かけたら、迷わず110番通報しましょう